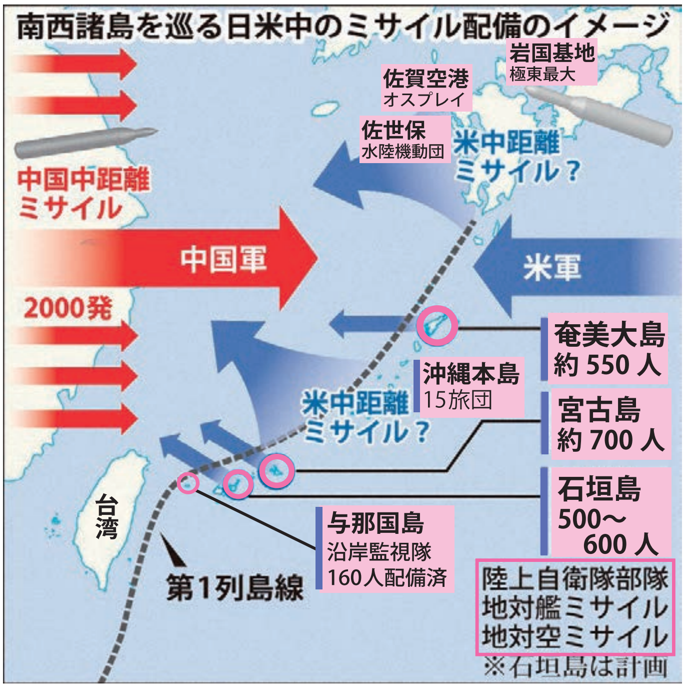
沖縄・南西諸島を再び戦場にするな

●自衛隊が次々ミサイル配備

テレビでは毎日のように「台湾有事」が叫ばれ、「中国の脅威」が煽られています。しかし、戦争の危機をつくり出しているのは米日の側です。アメリカは**日本全土に中距離核ミサイル**配備をもくろみ、自衛隊は**沖縄・南西諸島へのミサイル**配備を次々に進めています。昨年来、米軍と自衛隊の空前の大演習がくり返されています。いずれも中国が標的です。岸田政権は過去最大の軍事予算を組み、さらに倍増を目指し、そして憲法改悪を言明しています。



巨大な米軍事力に加えて自衛隊がミサイル配備（毎日新聞他）

●沖縄・南西諸島が戦場に

昨年 12 月には、米軍と自衛隊が「台湾有事」を想定した新たな日米共同作戦計画の原案を策定していたことが共同通信のスクープで発覚しました。この計画では、米海兵隊の「遠征前方基地作戦（EABO）」に基づき、南西諸島のうち奄美大島、宮古島、石垣島などの有人島を含む約 40 か所を軍事拠点化して中国軍とミサイルを撃ち合うことが想定されています。それは不可避に核戦争になります。

●１５５万の全住民が犠牲に

南西諸島に住む１５５万の人々を、沖縄戦の惨禍をはるかに上回る核戦争の災厄にたたきこむ戦争計画です。自衛隊幹部は「申し訳ないが、自衛隊に住民を避難させる余力はない」と言い放っているのです。アメリカも南西諸島と日本列島、そして東アジアを核で破壊する戦争を本気で考えています。米日は、「台湾有事」に介入するかたちで、イラク戦争以上の大戦争をやろうというのです。それは中国への侵略戦争であり、絶対に許してはなりません。あらゆる力でとめよう。

２月にも実施された、対中国の米日共同演習。米空母や強襲揚陸艦など１万人とともに自衛隊護衛艦なども参加。自衛隊版海兵隊「水陸機動団」も加わって、ミサイルで中国の基地を先制攻撃し、上陸まで狙う侵略戦争作戦だ！

改憲・戦争阻止！大行進　連絡先：千葉県千葉市中央区要町 2-8　動労千葉気付　TEL.043-222-7207
東京都台東区元浅草 2-4-10　Email kaikensoshi_daikoushin@yahoo.co.jp
2022 年 2 月発行
ブログはこちら➡

沖縄・南西諸島ー日本全土への

中距離核ミサイル配備に反対

◆中国本土を狙う米軍ミサイル

トランプが INF（Intermediate-range Nuclear Forces＝中距離核戦力）全廃条約を破棄して以降、米バイデン政権は、地上発射型中距離ミサイルの生産を急速に進めています。それを、沖縄・南西諸島をはじめ九州･岩国･三沢などー日本全土とアジアへの配備を狙っているのです。アメリカが考えているのは、日本全土から先制的にすさまじい数の中距離ミサイルを中国の航空基地に撃ち込み制空権を奪取、さらに南西諸島４０以上の島の攻撃拠点を移動しながら、無数の対艦・対空ミサイルで制海権を奪い、そこに空母打撃軍を送り込んで、中国本土に侵攻するという計画です。「台湾有事」を口実にした侵略戦争です。

◆それは必ず核ミサイルになる

核保有国・中国を相手とした軍事戦略である以上、核弾頭を搭載するのは明白です。日本政府はこれを積極的に受け入れようとしています。この動きが、中国の対抗を含めて、東アジアの戦争危機を一気に高めているのです。

中国の基地を先制攻撃できる、極超音速中距離ミサイルLRHW。核搭載が前提のミサイルだ。中国民衆を殺すと同時に、沖縄・南西諸島と日本全土が戦場になる！

◆沖縄と日本全土が核戦争の戦場に

第二次世界大戦の帰結であった原爆投下によって、広島の街は一瞬で吹き飛び、４５年の１２月末までに１４万人が殺されました。その後、黒い雨によって放射能は広範囲に飛散し、今も多くの被爆者を苦しめています。沖縄は「鉄の暴風」と言われた沖縄戦で県民の３人に１人が殺されました。これ以上の惨禍をまたくり返すのか！

◆中国・東アジアでの新たな核戦争を許さない

岸田政権が進める「敵基地攻撃能力」の保有と改憲は新たな核戦争の引き金です。絶対止めよう！

ヒロシマが呼びかける署名にご協力ください

年　月　日

内閣総理大臣　岸田文雄様
防衛大臣　岸信夫様

沖縄・岩国ー日本全土への
中距離核ミサイル（INF）配備に反対します！

◆米バイデン政権は、地上発射型中距離ミサイル（Intermediate-range Nuclear Forces）の、沖縄・岩国ー日本全土、アジア配備をねらっています。核保有国・中国を相手とした軍事戦略である以上、核弾頭を搭載するのは明白です。日本政府はこれを絶対に受け入れてはなりません。

◆第二次世界大戦の帰結であった原爆投下によって、広島の街は一瞬で吹き飛び、12 月末までに 14 万人が殺されました。その後、黒い雨によって放射能は広範囲に飛散し、今も多くの被爆者を苦しめています。敗戦後、被爆者は米軍の占領（プレスコード）下にありながら原爆の正体を告発し、朝鮮戦争での核兵器使用を阻止し、今日まで世界の先頭で「反戦反核」を訴えてきました。

◆私たちは中国・東アジアでの新たな核戦争を許しません。日本だけではなく世界のどこにも核はいりません。また「対中国」を煽って進めている､自衛隊の「敵基地攻撃能力」の保有、憲法 9 条の改悪にも反対します。

氏　名	住　所

【呼びかけ人】
吉原美玲子(広島の被爆者)､城臺美彌子(長崎の被爆者)、西本喜治（元大野町議)、宗藤信江（キリスト者)、吉田修（広島大学教授)、纐纈厚（明治大学客員研究員)、清水雅彦(日本体育大学教授)､野田隆三郎(岡山大学名誉教授)、斎藤貴男（ジャーナリスト)、椎名千恵子（3・11 反原発福島行動呼びかけ人)、布施幸彦（ふくしま共同診療所院長)、 葉山岳夫（弁護士)、高山俊吉（弁護士）　2021 年 11 月 22 日現在

【よびかけ団体】 8・6 ヒロシマ大行動実行委員会（署名集約先）
〒 730-0016 広島市中区幟町 14 ー 3 ー 705　電話＆ fax　082 ー 221 ー 7631　メール 86hiroshima.daikoudo@gmail.com

●米カリフォルニア州のサンニコラス島で行われた地上発射型の中距離巡航ミサイルの発射実験＝2019 年８月

▶急ピッチで進む「使える核兵器」の開発と配備。絶対使わせない！いま声をあげるとき！

署名用紙はこちら